

レンズを使用する前に必ず添付文書をよく読み、必要な時に読めるように保管してください。

*2025年10月(第2版)
2024年5月(第1版)

機械器具72 視力補正用レンズ
高度管理医療機器 再使用可能な視力補正用色付コンタクトレンズ 32803000

承認番号 30300BZX00221A02

ビューイット2ウィーク (ソフトコンタクトレンズ)

【警告】

1.コンタクトレンズ(以下、レンズ)の装用により角膜潰瘍、角膜炎(感染性角膜炎を含む)、角膜浸潤、角膜びらん等の角膜上皮障害、角膜浮腫、結膜炎(巨大頭結膜炎を含む)、虹彩炎、角膜血管新生等が発症する可能性及び角膜内皮細胞の減少を早める可能性があります。
レンズの装用による眼障害の中には、治療せずに放置すると失明につながるものがあります。

2.上記の眼障害を起こさないようにするためにも、レンズを使用する際は次のことを守ってください。

(1)装用時間を正しく守ること

レンズの装用時間には個人差があります。眼科医に指示された装用時間を必ず守ってください。

(2)使用期間を守ること

このレンズは使用する期間が決まっています。眼科医の指示に従い、使用期間を超えることなく、定期的に新しいレンズと必ず交換してください。

(3)取扱い方法を守り正しく使用すること

レンズやケア用品の取扱い方法を誤ると眼障害につながります。レンズやケア用品(特にレンズケース)は清潔に保ち、正しい取扱い方法で使用してください。

(4)定期検査を受けること

自覚症状がなく調子よく装用していても眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していたりすることがあります。異常がなくても眼科医に指示された定期検査を必ず受けてください。

(5)異常を感じたら直ちに眼科を受診すること

レンズ装用前に眼ヤニや充血がないか、また装用後も異物感等がないか確認し、異常を感じたら眼科を受診してください。

(6)破損等の不具合があるレンズは絶対に使用しないこと

装用前に、レンズに破損等の不具合がないか必ず確認してください。
装用中にレンズの破損等による自覚症状が発生し、自覚症状が改善しない場合は眼科を受診してください。

【禁忌・禁止】

1. 適用対象(患者): 次の人は使用しないこと

前眼部の急性及び亜急性炎症
眼感染症
ぶどう膜炎
角膜知覚低下
レンズ装用に問題となる程度のドライアイ及び涙器疾患
眼瞼異常
レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患
常時、乾燥した生活環境にいる人
粉塵、薬品等が眼に入りやすい生活環境にいる人
眼科医の指示に従うことができない人
レンズを適切に使用できない人
定期検査を受けられない人
レンズ装用に必要な衛生管理を行えない人

2. 使用方法

自分のレンズを他人に渡したり他人のレンズを使用したりしないでください。

*【形状・構造及び原理等】

1. レンズの組成

- ソフトコンタクトレンズ分類: グループ I
- 構成モノマー: 2-ヒドロキシエチルメタクリレート及びエチレンジグリコールジメタクリレート
- 含水率: 38.6%
- 酸素透過係数: 8.50×10^{-11} (cm²/sec)[mlO₂/(ml・hPa)]
- 着色剤: フタロシアニン系着色剤
- 紫外線吸収剤: ベンゾトリアゾール系紫外線吸収剤
紫外線吸収率: 全てのレンズにおいて
UV-A波: 吸収率77.4%以上
UV-B波: 吸収率93.3%以上

2. 保存液

保存液の主成分: 塩化ナトリウム、緩衝剤(ホウ酸系)、湿潤成分

3. 原理

視力補正コンタクトレンズを眼に装着すると、屈折力をもつレンズによって視力補正を行うことができる。

【使用目的又は効果】

視力補正

【使用方法等】

本品は、終日装用2週間交換型ソフトコンタクトレンズです。
本品の消毒方法は、化学消毒です。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

1. レンズ着脱

(1) レンズ取扱いの注意事項

- 爪は短く切り、丸くなめらかにしてください。
- レンズを取扱う前に必ず手を洗浄してください。
- レンズを着脱するときは、爪を立てたり、指先が直接眼にふれたりしないようにしてください。

(2) レンズの取り出し方

- 開封時にアルミシールで手指を切らないように注意してください。
- レンズをキズつけないように、爪を立てず指の腹でそっと容器から取り出します。
- 装用前にレンズの左右、裏表を確認してください。



(3) レンズのはめ方

- 人さし指にレンズをのせます。
- 鏡を見ながら、もう一方の手の親指と人さし指で眼を大きくあけます。
- レンズをゆっくりと眼に近づけ、黒眼の上にそっとのせます。
- レンズを黒眼にのせたら、眼をあけていた指をゆっくり離し、まばたきをゆっくりしてください。
- 左右の見え方で、入れ違いがないかを確認してください。



(4) レンズのはずし方

- 中指で下まぶたを引き上げます。
- そのままの状態で見ながら人さし指でレンズの下方をつまんではずします。



